

おいて
追風に帆を上げろ Part II

学校長 駒田 勝

いよいよ、「沖縄」へ向け、修学旅行に出発です。

「好機逸すべからず」と言います。この機会を逃すことなく出発しましょう。

本年7月に始まった「新型コロナウイルス」による第7波は、感染力の強い「オミクロン株 BA.5」への置き換わりが進む一方で、医療提供体制の強化とワクチンが普及したこともあり、国や県による感染防止対策の考え方が大きく変更されました。これまでの「緊急事態宣言」や「まん延防止」といった行動制限が伴う措置は、できるだけ行わないことが決定されたこともあり、市中感染はこれまでにないほど拡大しました。特に、沖縄県においては、6月下旬頃からの新規感染者数の増加は著しく、連日過去最多を更新する状況となりました。同時に医療機関の逼迫が全国でも最も顕著になるなど、沖縄への修学旅行の実施が危ぶまれる状態となりました。

ところが、昨年度の修学旅行同様、絶妙なタイミングで追風が吹き始めました。沖縄では8月下旬頃から、新規感染者数の減少が急激に進み、「不要不急の外出自粛」の解除や、医療機関も改善の兆しが見られるなど、コロナ禍において、修学旅行を実施できるチャンスが訪れたのです。これは2年続けての「奇跡」です。

この機会を逃す手はありません。皆さんには、修学旅行を通して、琉球王国の時代から現在の沖縄に至るまで、様々な文化の影響を受けながら発展してきた、沖縄の歴史・伝統文化、そして自然に大いに触れてもらいたいと思います。特に、民家体験では、自然と人間の共存、沖縄の暮らし、そして人々とのふれあいを体感してください。これまでにない貴重な経験になることでしょう。

ただ、これだけは約束してください。コロナは根絶されているわけではありません。私たちの旅行中には、「コロナ感染」のリスクが常についてまわることです。先生方の指示に従い、マスクの着用等、感染防止対策を十分に励行しましょう。そして、誰一人として欠けることなく、全員そろって無事に帰宅することを約束したうえで、出発することにしましょう。

「追風に帆を上げろ。いざ、出発 !!」

73 回生の皆さんは、コロナの影響を受け、中学時代の修学旅行が計画通りに実施できなかったと聞いています。今回の修学旅行が、皆さんにとって思い出深い経験となることを願っています。